

日本相談支援専門員協会における 個別避難計画作成に向けた取組み

特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会

NSKの活動目的と災害支援の位置付け

<日本相談支援専門員協会定款より>

3条) 目的

この法人は、相談支援専門員が障害者の地域生活を支援する目的で、障害者ケアマネジメントを基本とした中立、公平な相談支援活動を実施するとともに、自らの資質の向上に努めることをもって、障害者の自立した生活支援に資することを目的とする。

4条) 特定非営利活動の種類

► この法人は、第3条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 災害救援活動
- (5) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (6) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (7) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助の活動

NSKにおける災害派遣活動の内容及び実績

派遣活動体制など

	活動主体	財源	主な活動内容
東日本大震災 (2011)	NSK (SSA) 宮城県	要請があった被災自治体の による地域支え合い事業	被災自治体からの障害者手帳情報 による戸別訪問 約 1,300 件
熊本大震災 (2016)	NSK (主管) 熊本市 熊本県 協働プラットフォーム	日本財団	被災自治体からの障害者手帳情報 による戸別訪問 8,741 件
能登半島地震 (2024)	石川県 JVOAD、日本介護支援専門員協会との3団体による 共同事業	厚労省 被災高齢者等把握事業	被災自治体からの情報による戸別 訪問 派遣者数 167名 実数 戸別訪問 2380件 相談件数 354件 派遣都道県 22団体

NSK自主研修～誰一人取り残さない防災に向けた取組み～

<目的>

全国各地で発生している災害等に備え、相談支援専門員の防災に対する意識の向上と災害時に必要となる積極的な活動へ結びつける。

<開催地>

- ・2021年 九州ブロック研修（長崎県）
- ・2022年 関東ブロック研修（神奈川県）
- ・2023年 地域研修（長野県上田市）

<講師（研修当時の所属）>

同志社大学社会学部 立木茂雄教授

松川杏寧助教、辻岡綾助教

<初日>

e-Learningによる事前研修 ※動画による自己学習（8時間）

- ・防災の基本的な考え方
- ・根本原因
- ・当事者力を高める
- ・避難移動の災害時ケアプランをつくる
- ・避難生活の災害時ケアプランをつくる
- ・合理的配慮と障害者権利条約

<2日目>

対面研修（5時間） 講義（60分）

災害時における被災自治体との連携による個別訪問について

モデル事例による演習（210分）

- 1.個別アセスメント & 個人のマイ・タイムライン作成
- 2.調整会議演習①：エコマップ作成
- 3.調整会議演習②：マイ・タイムラインすり合わせ
- 4.調整会議演習③：ICFチェックシート演習
- 5.振り返り、意見交換

洪水

アップ ~自由にリスク情報を調べる~

長野県上田市



選択中の情報

災害種別で選択

- 洪水 (想定最大規模)
- 土砂災害
- 高潮 (想定最大規模)
- 津波 (想定最大規模)
- 道路防災情報
- 地形分類

*掲載データに関する留意事項

+ すべての情報から選択

選択情報のリセット

表示 指定緊急避難場所 洪水 解説 凡例

表示 指定緊急避難場所 高潮 解説 凡例

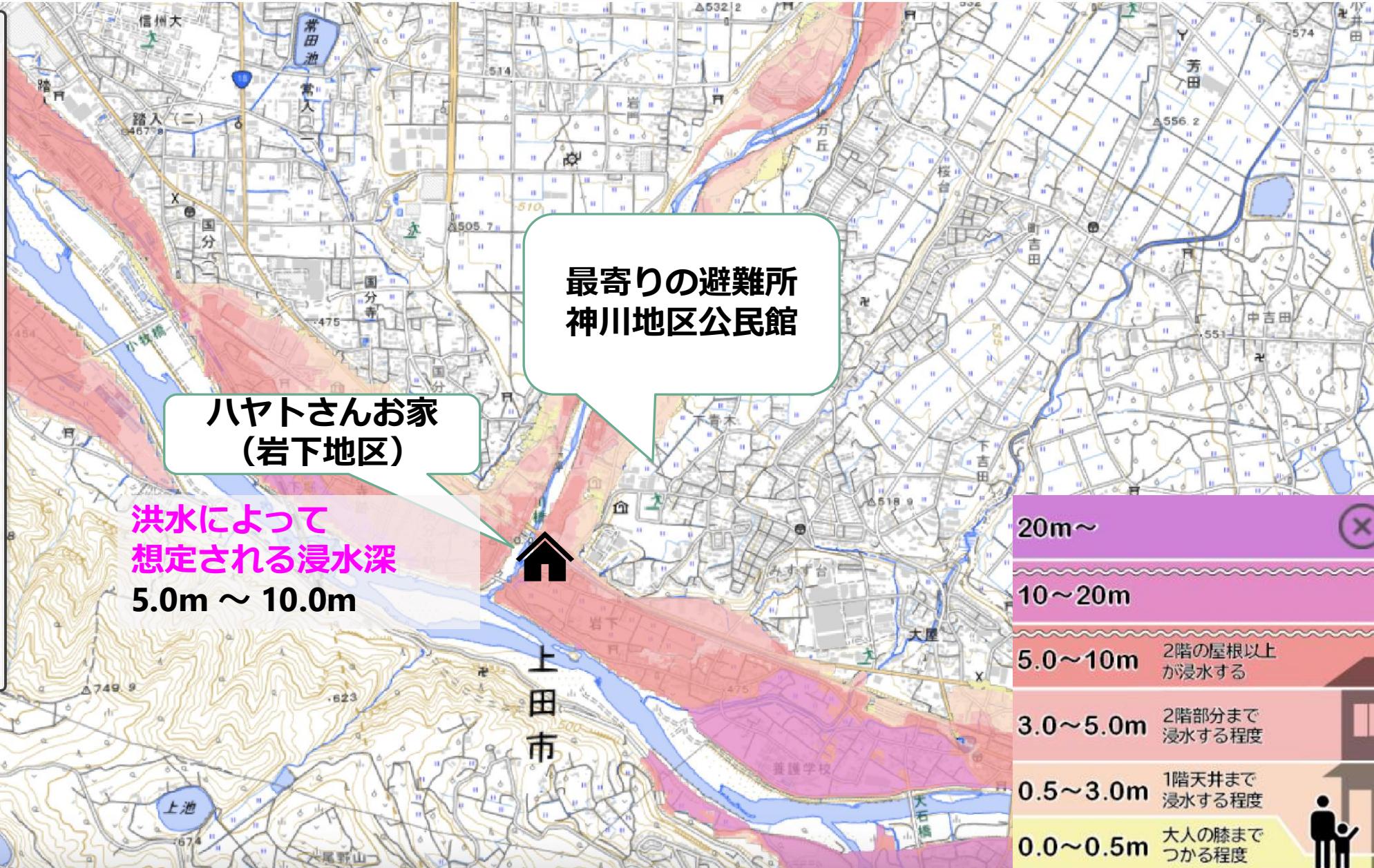
表示 災害リスク情報>洪水浸水想定 洪水浸水想定区域 (想定最大規模) 解説 凡例

表示 災害リスク情報>洪水浸水想定 洪水浸水想定区域 (計画規模 (現在の凡例)) 解説 凡例

表示 災害リスク情報>洪水浸水想定 洪水浸水想定区域 (計画規模 (旧凡例)) 解説 凡例

表示 災害リスク情報>洪水浸水想定 淹水継続時間 (想定最大) 解説 凡例

視点 リセット



「わたしの災害時ケアプラン（避難移動編）確認書」と「わたしのタイムライン」

作成日：令和 年 月 日

私は、今住んでいる地域にどんな災害が発生するのかを理解し、下記の必要な備えの準備を行ないます。また、いざという時には支援が必要となるため、支援が得られるように日常から周りにいる人との関わりを積極的に行ない、本確認書に記載した自分に関する情報を関係機関・者と共有することに同意します。

ふりがな															
氏名 (自署)		性別	男・女	生年月日		歳	事業所名								
住所				電話番号	123-456-789			作成者							

災害リスクを知って「逃げるタイミング」を理解しましょう。地域で協力し、「誰ひとり取り残さない避難」へ。

■住まいに起こりうる災害は…ハザードマップで確認を！

<input type="checkbox"/> 住まい 建築時期	昭和51年 7月	構造	木造	2階建て	
<input type="checkbox"/> 地震・津波		震度			
<input type="checkbox"/> 地震・津波		震度			
<input type="checkbox"/> 洪水	浸水区域内				
<input type="checkbox"/> 土砂災害	警戒区域外				

■ペットを飼っていますか はい いいえ

<input type="checkbox"/> 一緒に避難する	
<input type="checkbox"/> 知人らに預ける	(日前に)

■避難準備にかかる時間は？

<input type="checkbox"/> 家族らへの連絡	1 分
<input type="checkbox"/> 持ち出し品の準備	1 分
<input type="checkbox"/> 家の戸締まり	5 分
i-pad,イヤーマフ、缶 コーヒー1分	計 8 分

■必要なそなえ

- ・常備薬（てんかん薬）・お気に入りのぬいぐるみ
 - ・i-pad, ガラケー
 - ・イヤーマフ
 - ・持ち出し袋
 - ・缶コーヒー
 - ・マスク・消毒薬
- 自分で準備します。

■必要になる支援

避難移動の時

一人では移動できない

自分達ができる
ところまで記入済み
でしたね！

避難生活の時（今回なし）

■どこに避難しますか

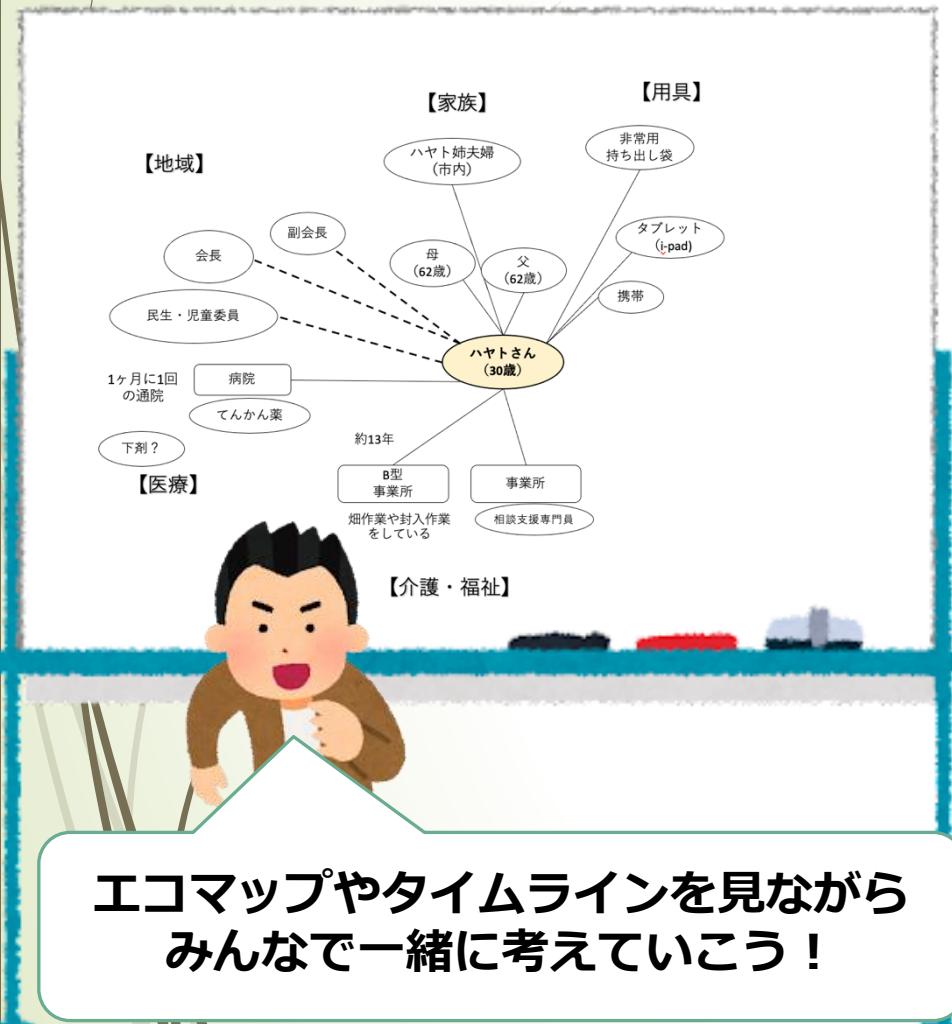
<input type="checkbox"/> 避難先 1 神川地区公民館		徒歩	9 分
<input type="checkbox"/> 避難先 2		徒歩	分
<input type="checkbox"/> 自宅の浸水しない場所（2階以上など）		→ <input type="checkbox"/> 手助けが必要 <input type="checkbox"/> 手助けは不要	

避難先 1 へかかる時間 (① + ②) 計 17 分

避難先 2 へかかる時間 (① + ③) 計 分



今からこのメンバーで、ハヤトさんの避難をどうするかを 当事者・行政・専門職・地域の方たちと話合っていきます



災害時障害福祉コーディネーター（メンバー）養成研修

予定養成カリキュラム 事前学習e-Learning 講座と対面研修

●総論

- ・災害時障害福祉コーディネーターの要件と体制づくり
- ・これまでの障害福祉分野での支援の経緯

●災害対応各論

- ・災害と防災の基礎
- ・災害過程概論（フェーズごとの被災地のイメージ）
- ・災害対応の仕組み（行政などの災害対応の動き）
- ・災害法制概論（災害対応にかかる法制度・費用）
- ・災害支援における役割と活動（NSKとしての実務）
- ・災害支援における心構え
- ・平時からの防災活動と支援（BCP/BCM、受援計画）

●ワークショップ（対面）

- ・災害時の障害福祉実務
- ・クロスロードなど防災研修